ALTO PROFESSIONAL

TS112W
TRUESONIC

クイックスタート・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。

このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。

このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2 つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] http://alto-professional.jp/

[MAIL] info@alto-professional.jp

ALTO PROFESSIONAL

<お問い合わせ>

株式会社ニュマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL：03-6277-2231　FAX：03-6277-0025

同梱品

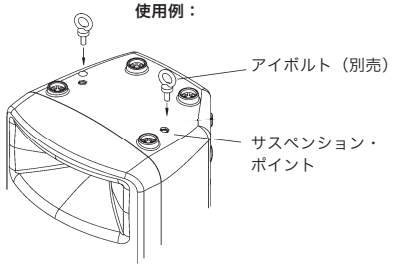
- Truesonicワイヤレス・スピーカ本体（1台）
- 電源ケーブル
- クイックスタート・ガイド（本書）
- 製品保証書（クイックスタート・ガイド巻末）

設置について

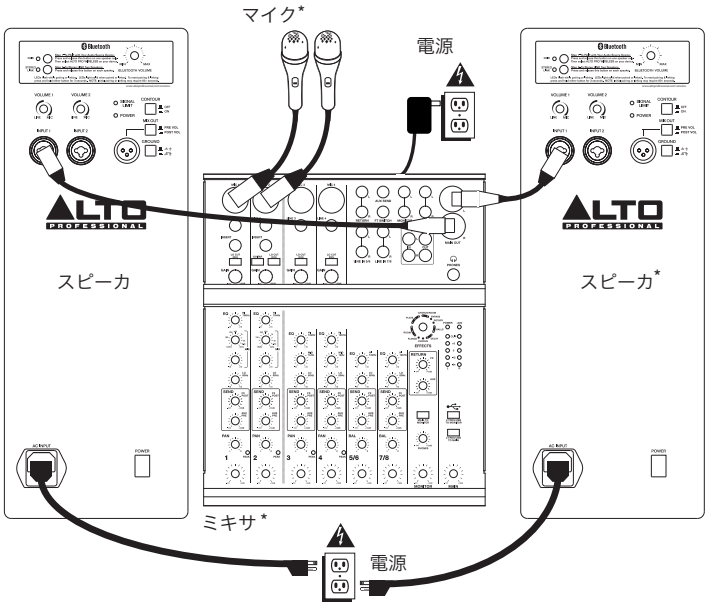
本製品は、耐荷重を満たすスピーカ・スタンド（35mm径パイプ）に載せて床に立てるか、またはサスペンション・ポイント（M10 x 1.5PH、長さ30mm）を利用して吊って使用してください（右図を参照してください）。複数のスピーカを重ねて吊ることはお勧めしません。

スピーカ・スタンドは、ALTO professional製の「F3」をお勧めします。

使用例：



接続例



本図は、ミキサ等と音声ケーブルで接続する一例です。Bluetoothデバイスとワイヤレスでお使いいただく場合は、このあとの「Bluetoothペアリング（接続）&ステレオ・リンク」の項目をご参照ください。

※図中の、マイク、ミキサ及びケーブル類は製品に含まれていません。またステレオでお使いいただくには、もう一台Truesonicワイヤレス・スピーカが必要です。

Bluetoothペアリング（接続）&ステレオ・リンク

重要：

- 本項目は、ワイヤレスでBluetoothデバイスと接続するための手順です。
- ペアリング（接続）またはステレオ・リンクを行う際は、必ず手順通りに行なってください。前の手順が終わらないうちに次の手順を行なってしまいますと、正しく完了できません。
- Bluetoothペアリング（接続）とステレオ・リンクは、ガイド・トーンのパターンが異なりますので、簡単に区別できます。

レンジについて

Truesonicワイヤレス・スピーカは、先進の広範囲Bluetoothアンテナを搭載し、従来のBluetoothデバイスより交信範囲が広く、見通しのよい場所で18～24メートルの広いレンジで動作させることができます（交信可能範囲は環境によって異なります）。

交信範囲を広げるには

- 送信デバイスとTruesonicワイヤレス・スピーカの間に壁や家具など障害物がないことを確認してください。
- 送信デバイスのWiFiをオフにしてください。
- 周辺の、他のBluetooth装置や無線LAN装置などのワイヤレス装置や電子レンジなどの電源を（可能であれば）オフにしてください。

Bluetoothペアリング（接続）

送信デバイスとTruesonicワイヤレス・スピーカをペアリング（接続）するには送信デバイスとスピーカと1対1で行なってください。

1. Truesonic ワイヤレス・スピーカの電源を入れ、背面の「PAIR」ボタンを押して手を離します。LED が「点滅」しスピーカからガイド・トーン（ピ、ピ、ピ…）が聞こえます（2 台のスピーカを使用してステレオでお使いいただく場合は、このガイド・トーンが聞こえる方が「マスタ」になります。詳しくは以下の「ステレオ・リンク」の項目をご覧ください）。
2. お手元の送信デバイスの設定ページでBluetoothをオンにして、**「ALTO PRO WIRELESS TS112W」**を選択します。しばらくすると（60秒ほどかかる場合もあります）ガイド・トーンのパターンが変化してから停止し、「PAIR」ボタンLEDが「点灯」状態になり、ペアリング（接続）が完了します。

   注意：接続の際、もしお使いの送信デバイスがPINコードの入力を求めてきた場合には、「0000」（半角数字の0を4つ）を入力してください。

   注意：お使いの送信デバイスによっては「ALTO PRO WIRELESS TS112W」と表示されずに、「Stereo Speakers」や「Advanced Audio」などと表示されることがあります。その場合には、それらを選択してください。
3. Truesonicワイヤレス・スピーカ背面の「BLUETOOTH VOLUME」ノブを最小にします。
4. お手元の送信デバイスで音楽を再生させます。再生ボリュームは最大にすることをお勧めします。その後、Truesonicワイヤレス・スピーカ背面の「BLUETOOTH VOLUME」ノブを少しずつ上げていき、お好みの音量に調整します。
5. 一旦、お手元の送信デバイスとスピーカとをペアリング（接続）しましたら、スピーカは電源を切っても送信デバイスとのペアリング（接続）を記憶しています。次回、再接続するには、Truesonicワイヤレス・スピーカの電源を入れた後、お手元の送信デバイスのBluetooth設定ページで「ALTO PRO WIRELESS TS112W」を選び接続操作をしていただくだけで、送信デバイスとスピーカは再度ペアリング（接続）されます。

ステレオ・リンク

2 台の Truesonic ワイヤレス・スピーカを使って、ステレオでお使いいただくには、まず上記のペアリング（接続）操作で、送信デバイスを「マスタ」スピーカ（1 台目のスピーカ）と接続しておきます。

1. お手元の送信デバイスで曲の再生が止まっていることを確認します。もし再生されている場合は、再生を停止し、5秒ほど待ちます。
2. 2台のスピーカの背面の「STEREO　LINK」ボタンを、どちらも押して手を離します。
3. 両方のスピーカのLEDが「点滅」し互いのスピーカの探索を開始します。どちらのスピーカからもガイド・トーン（ピピ、ピピ、ピピ…）が聞こえます。

注意：送信デバイスとペアリング（接続）されたスピーカを、「マスタ」スピーカと呼び、ステレオ・リンクされたスピーカを「スレーヴ」スピーカと呼びます。送信デバイスからの音声信号は一旦「マスタ」スピーカに送られ、そこから「スレーヴ」スピーカに分配されます。

4. しばらくすると（60秒～3分ほどかかる場合もあります）ガイド・トーンのパターンが変化してから停止し、「STEREO LINK」ボタンLEDが「点灯」状態になり、ステレオ・リンクが完了します。

注意：ステレオ信号（L/R）は、それぞれふたつのスピーカに分配されます。「マスタ」スピーカにはLチャンネル、「スレーヴ」スピーカにはRチャンネルが送信されます。

ヒント：2台のスピーカを使用してステレオ・リンクをする場合、これらのセッティングを簡単にするために、「マスタ」スピーカに何かラベルをつけて判別しやすくしておくとよいでしょう。

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。

追加情報

Truesonicワイヤレス・スピーカは、電源を切っても一度設定されたペアリング（接続）やステレオ・リンクの情報は記憶していますので、次回電源投入時には自動的に再接続します。再接続された際には、「STEREO　LINK」ボタンLEDが「点灯」します。

ヒント：Truesonicワイヤレス・スピーカは、電源をオン・オフしても、一度ペアリング（接続）された送信デバイスを記憶しています。次回ご使用時に再接続するには、お手元の送信デバイスのBluetooth設定ページにてTruesonicワイヤレス・スピーカをお選びいただき、接続してください。

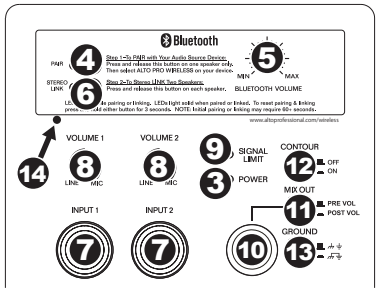
もし次回電源投入時に自動的にペアリング（接続）やステレオ・リンクしない場合は、一旦スピーカの電源を切り、改めて電源をオンにしてお試しください。

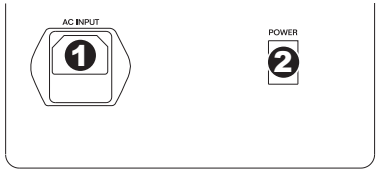
また、2台のスピーカをステレオ・リンクしている場合、お手元の送信デバイスは「マスタ」スピーカとのみペアリング（接続）しており、「スレーヴ」スピーカの「PAIR」ボタンは無効になっています。もしこの状態で「スレーヴ」スピーカの「PAIR」ボタンを押した場合、ガイド・トーンが3回鳴り、ボタンが無効になっていることを知らせます。

ペアリング（接続）やステレオ・リンクの設定を削除するには、「PAIR」ボタンまたは「STEREO LINK」ボタンを3秒間押したままにします。長いガイド・トーンが鳴って設定の削除が完了し、LEDが「消灯」します。ステレオ・リンクの場合は、「マスタ」スピーカと「スレーヴ」スピーカのどちらにもこの操作をする必要があります。設定の削除が完了しましたら、新たな送信デバイスやスピーカとペアリング（接続）、またはステレオ・リンクすることができるようになります。

注意：ガイド・トーンの音量は予め最適なレベルに設定されています。この音量を変えるにはこのあとの「リアパネル」の項目をご参照ください。

リアパネル





1. **AC INPUT：**付属の電源ケーブルをここに接続します。電源ケーブルを接続したり抜いたりする際には、スピーカ本体の電源スイッチがオフになっていることを必ずご確認ください。

2. **POWERスイッチ：**スピーカ本体の電源をオン・オフします。電源をオンにする際には、スピーカ本体のボリュームが最小になっていることを必ずご確認ください。

3. **POWER LED：**本体の電源がオンになっている際に「点灯」します。

4. **PAIR ボタン：**このボタンを押して手を離すと、送信デバイスとペアリング（接続）します。詳しくは、「Bluetooth ペアリング（接続）&ステレオ・リンク」の項目をご参照ください。

5. **BLUETOOTH VOLUMEノブ：**このノブでBluetoothで接続された送信デバイスの音量を調整します。

6. **STEREO LINK ボタン：**このボタンを押して手を離すと、2 台の Truesonic ワイヤレス・スピーカをリンクさせ、ステレオでお使いいただけます。詳しくは、「Bluetooth ペアリング（接続）&ステレオ・リンク」の項目をご参照ください。

7. **INPUT VOLUME：**INPUT端子に接続した音声のボリュームを調整します。

8. **INPUT端子：**標準TRSケーブルやXLRケーブルを接続可能な音声入力端子です。

9. **SIGNAL LIMIT LED：**赤く点灯している場合は、入力音量が大きすぎて内部のプロテクション機能が働いている状態です。プロテクション機能は、スピーカ本体のウーファや高域ドライバを保護するために入力信号レベルを強制的に抑えます。この LED が頻繁に点灯したり、出力音声が歪んでしまう場合は、入力音量が大きすぎますので、ソースの音量を下げるか、スピーカの INPUT VOLUME ノブを下げてください。

10. **MIX OUT：**他のスピーカなどと接続するための音声出力端子（XLR）です。

11. **MIX OUT SELECTOR：**このスイッチが「PRE VOL」の状態では、MIX OUTから出力される音声はINPUT VOLUMEの影響を受けず、入力されたソースの音量そのままで出力されます（INPUT VOLUMEノブで調整できません）。スイッチが「POST VOL」の状態では、MIX OUTから出力される音声はINPUT VOLUMEノブで調整可能です。
    注意：BLUETOOTH VOLUME ノブは、このスイッチの状態にかかわらず MIX OUT から出力される音量に影響します。

12. **CONTOURスイッチ：**このスイッチを押すと、低音域と高音域が3dBブーストされ、輪郭を際立たせたサウンドキャラクタになります。フラットな特性が必要な場合はスイッチをオフにしてください。

13. **GROUNDスイッチ：**このスイッチを押すと、グラウンドが接地され、ハムやノイズを抑えます。

14. **PAIR/LINKING TONE VOLUME：**「STEREO LINK」ボタンの左下にある小さな穴の中に、ガイド・トーンの音量を調整するつまみがあり、- ∞ dB～+10 dBの範囲で設定できます。細いマイナスドライバなどで、時計回りに回すとガイド・トーンの音量は大きくなり、逆に回すと小さくなります。12時方向が工場出荷時の設定です。

製品仕様

出力：	800 W ピーク（670 W 低音用 + 130 W 高音用） 400 W 連続 RMS（335 W 低音用 + 65 W 高音用）
クロスオーバ：	2.5 kHz
最大音圧レベル @ 1m：	125 dB ピーク、122 dB 連続
周波数特性：	65 Hz〜19 kHz（+ 3 dB）
周波数レンジ：	54 Hz〜20 kHz（@ -10 dB）
低音域ドライバ：	12インチ（305 mm）ウーファ、2インチ（51 mm）ボイスコイル
高温域ドライバ：	ネオジウム・コンプレッションドライバ、1インチ（25 mm）ボイスコイル
ホーン・カバレッジ：	80/100° H x 60° V、nominal（@ -6 dB）
入力コントロール：	Line/Mic -∞ 〜 +50 dB 最大入力レベル：+23 dBu インピーダンス：15 kΩ
コントロール：	ボリューム、LEDつき電源スイッチ、LEDつきクリップ・リミッタ、グラウンド・リフト・スイッチ
コネクタ：	入力：1/4" TRS または XLR（x 2） リンク：One XLR
ワイヤレス接続方法：	Bluetooth（A2DP）
ワイヤレス交信範囲：	60〜80 feet（18〜24 m）
プロテクション：	過振幅保護、熱保護、ドライバ保護
電源：	100 VAC、110-120 VAC または 220-240 VAC、50/60 Hz
キャビネット：	台形型/フロア・モニタ機能/射出成形ポリプロピレン樹脂キャビネット/スチール製グリル
設置方法：	スピーカスタンド・ソケット（Φ36mm）、ハンドル x 2、M10 ソケット x 5（トップとボトムに各 2、背面に 1）
サイズ（H x W x D）：	648 mm x 384 mm x 365 mm
重量（スピーカのみ）：	16.4 kg

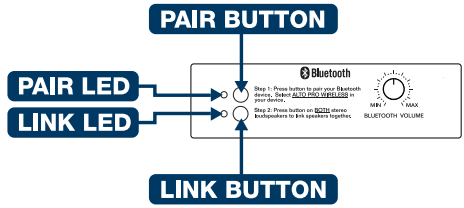
FCC ID: Y4O-TS112W
THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS: (1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND (2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRED OPERATION.

SHIELDED CABLES MUST BE USED WITH THIS UNIT TO ENSURE COMPLIANCE WITH THE CLASS B FCC LIMITS.

Inrush current at initial switch-on: 4.76 A
Inrush current after power supply interruption: 4.64 A

Bluetooth PIN #: 0000

2 台のスピーカをステレオ・リンクでお使いいただくには、



❶ **「マスタ」になるスピーカを選びます。**
どちらのスピーカでも「マスタ」になりますので、どちらか 1 台をお選びください。もう片方は「スレーヴ」として動作します。

❷ **「マスタ」スピーカの電源を入れ、背面の PAIR BUTTON を押して手を離します。**
PAIR LED が「点滅」し、スピーカからガイド・トーン（ピ、ピ、ピ…）が聞こえます。

❸ **お手元の送信デバイスの設定ページで Bluetooth をオンにして、「ALTO PRO WIRELESS TS112W」を選択します。**

❹ **送信デバイスとペアリング（接続）するのを待ちます。**
60 秒ほどすると、ガイド・トーンのパターンが変化してから停止し、PAIR LED が「点灯」状態になり、ペアリング（接続）が完了します。もしうまくいかない場合はステップ 2 と 3 を何度かお試しください。

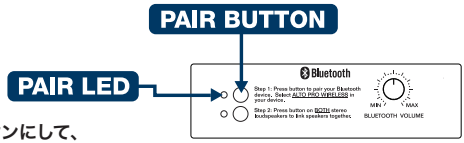
❺ **次に、「マスタ」スピーカの LINK BUTTON を押します。**
LINK LED が「点滅」し、ガイド・トーン（ピピ、ピピ、ピピ…）が聞こえます。もしうまくいかない場合は、5 秒ほど待って再度お試しください。

❻ **その後、「スレーヴ」スピーカの LINK BUTTON を押します。**
LINK LED が「点滅」し、ガイド・トーン（ピピ、ピピ、ピピ…）が聞こえます。もしうまくいかない場合は、5 秒ほど待って再度お試しください。

❼ **「マスタ」スピーカと「スレーヴ」スピーカがリンクするのを待ちます。**
ガイド・トーンのパターンが変化してから停止し、「STEREO LINK」ボタン LED が「点灯」状態になり、ステレオ・リンクが完了します。もしうまくいかない場合は、2 分ほど待ってどちらのスピーカも電源を切り、ステップ 2 から再度お試しください。

❽ **送信デバイスの音楽を再生させます。**

1 台のスピーカとペアリング（接続）するには、



❶ **スピーカの電源を入れ、背面の PAIR BUTTON を押して手を離します。**
PAIR LED が「点滅」し、スピーカからガイド・トーン（ピ、ピ、ピ…）が聞こえます。

❷ **お手元の送信デバイスの設定ページで Bluetooth をオンにして、「ALTO PRO WIRELESS TS112W」を選択します。**

❸ **送信デバイスとペアリング（接続）するのを待ちます。**
60 秒ほどすると、ガイド・トーンのパターンが変化してから停止し、PAIR LED が「点灯」状態になり、ペアリング（接続）が完了します。もしうまくいかない場合はステップ 1 と 2 を何度かお試しください。

❹ **送信デバイスの音楽を再生させます。**

うまくいかない場合は、

ペアリング（接続）やステレオ・リンクの設定、送信デバイスの Bluetooth 設定を一旦削除して、上記ステップをやり直してみてください。

設定を削除するには、スピーカの「PAIR」ボタンまたは「STEREO LINK」ボタンを 3 秒間押したままにします。長いガイド・トーンが鳴って設定の削除が完了し、LED が「消灯」します。ステレオ・リンクの場合は、「マスタ」スピーカと「スレーヴ」スピーカのどちらにもこの操作をする必要があります。

更に、お手元の送信デバイスの Bluetooth 設定ページで、**「ALTO PRO WIRELESS TS112W」**との接続解除や削除をし、再度上記ステップをお試しください。

http://alto-professional.jp/

Manual Version : 1.3, Numark Japan Corporation